重点施策 文化財の保護・活用の推進		評価実施者	所 属 職・氏名	社会教育課 課長 景由隆寛			
重点施策の概要	目 的	市民の財産である指定文化財を保存するとともに、それらを活用した講演会などの事業に取り組むなど、後世に文化財の魅力を伝える語り部の育成に取り組みます。					
	今年度の主要事業	屯田兵屋屋根塗装工事の実施 牧羊用石造サイロ(丸加高原)改修工事の実施					
事業の目標と実績	区 分		単 位	H24	H25	H26	特記事項
	1	指定文化財登録数	件	9	9	9	「滝川産海牛化石」の市指定文化財の除に伴い指定文化財は7資料となる
		目標実績		7	8	7	
	2	華月館・屯田兵屋来館者延人数	人	1,009	1,009	1,009	華月館 H24 1,178人、H25 69人、H26 30人 屯田兵屋 H24 263人、H25 228人、H26 142人
		目標実績		1,441	297	172	
3	太郎吉蔵来館者数	人	9,440	13,962	23,275		
4	目標実績						
事業の分析効果の検証	屯田兵屋及び牧羊用石造サイロの改修工事を実施し指定文化財の保護を図った。						
課題	指定文化財は市の歴史を学ぶ上での貴重な資料である。保護活動は交付金などを活用し進めてはいるが、郷土学習における見学、利用など文化財活用についてはほとんどできていない。 ※平成27年度より文化財の保護・活用に関する業務は、資料管理の一元化も鑑み、郷土館の所管部署である美術自然史館に移管。						
評価	B	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか 塗装、改修工事を施したことで保存状態が改善された。</p> <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 今後も文化財保護を進めていくとともに、活用についての仕組み(教材・人材)について進める必要がある。</p>					
【評価の区分】							
<p>A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する</p> <p>B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある</p> <p>C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。</p> <p>D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要</p>							
事業の今後の方向性	<p>今後も「まちの財産」が消失しないよう、文化財として価値のある資料に光をあて、保存・普及していく。</p> <p style="text-align: center;">☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☒ 継続</p>						
◎外部評価委員の評価・意見等							
点検・評価に関するコメント	郷土館について、独自の活動を強化していくことはできないか。駅などに資料を置くなど、滝川を知っていただくことを考慮してはどうか。						